2023 年度第 1 回入学前勉強会「統計学・データサイエンスの入り口」チェック問題

問1 表1のデータの分布の最小値、最大値、および範囲を求めよ。

X 組の生徒の身長

生徒	身長 (cm)		
1	165		
2	163		
3	169		
4	170		
5	176 164		
6			
7	166		
8	174		
9	165		
10	168		

問 2

左の表ののデータは、ある中学校の1年A組の男子25人の体重を出席番号順に並べたものです。右の度数分布表を完成させよ。

解答

生徒	体重 (kg)	生徒	体重 (kg)	生徒	体重 (kg)
1	56	11	64	21	61
2	46	12	52	22	56
3	57	13	53	23	67
4	58	14	45	24	68
5	41	15	54	25	54
6	59	16	64		
7	50	17	47		
8	59	18	62		
9	51	19	58		
10	62	20	48		

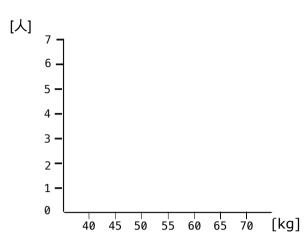
問3 次の度数分布表(X組の生徒の身長)から、 ヒストグラムを作成せよ。

度数分布表

階級 (kg)	度数 (人)		
以上 未満 40 - 45	1		
45 - 50	4		
50 - 55	6		
55 - 60	7		
60 - 65	5		
65 - 70	2		
計	25		

X 組の生徒の身長の度数分布表

階級 (kg)	度数 (人)
以上 未満 40~45	1
45~50	4
50~55	6
55~60	7
60~65	5
65~70	2
計	10



A 組の生徒の身長の相対度数分布表

問4A組の生徒の身長の相対度数分布表について、次の問いに答えよ。

- (1) 175cm 以上の生徒は全体の何 % か。
- (2) 165cm 以上の生徒は全体の何%か。

A 他の主化の分及の旧列及数万事教				
階級 (cm)	度数 (人)	相対度数		
以上 未満				
$150 \sim 155$	3	0.075		
155~160	8	0.200		
160~165	12	0.300		
165~170	10	0.250		
17~175	6	0.150		
175~180	1	0.025		
計	40	1		

問 5

- (1) B組の生徒の身長の度数分布表から相対度数分布表を作成せよ。(相対度数は小数第4位を四捨五入して求めよ)
- (2) 160cm 以上、170cm 未満の生徒の相対度数は A 組と B 組では どちらが大きいか。

階級 (cm)	度数 (人)
以上 未満	
150~155	5
155~160	8
160~165	11
165~170	13
170~175	6
175~180	5
計	48

B 組の生徒の身長の度数分布表 (1) B 組の生徒の身長の度数分布表と相対度数分布表

階級 (cm)	度数 (人)	相対度数
以上 未満		
$150 \sim 155$	5	
155~160	8	
160~165	11	
165~170	13	
170~175	6	
175~180	5	
計	48	

問 6

次の度数分布表は、B 組 40 人の生徒の通学時間をまとめたものです。次の問いに答えよ。

- (1) 度数の合計、「階級値」の列および 「相対度数」 の列の空欄を埋めよ。
- (2) 完成した表を利用して、(通学時間の) 平均値を求めよ

(1)	階級 (分)	階級値 (分)	度数 (人)	相対度数
	以上 未満 10~30		3	
	30~50		12	
	50~70		9	
	70~90		10	
	90~110		6	
	計			

問7 次のデータについて以下に答えよ。

(1) 平均値 $\bar{x}=$

(2) 偏差の欄(表の2列目)を埋めよ

(3) 偏差の平方の欄(表の3列目)を埋めよ

(4) 偏差の平方和の欄(表の3列目の一番下)を埋めよ。

(5) 分散 $s^2 =$

(6) 標準偏差 s =

平均值: $\bar{x}=$

偏差: 表の2列目

偏差の平方と平方和: 表の3列目と3列目の一番下

分散: $s^2 =$ 標準偏差: s =

問8 正規分布において、

(1) 平均以下のデータが全体に占める割合は何%か。

(2) 「平均を中心にして \pm 標準偏差」の範囲の外にあるデータが全体に占める割合は何%か。

(3) 平均 + 標準偏差 ×2 以上のデータが全体に占める割合は何 % か。

「J 国民の 95% の身長は (a) cm から (b) cm の範囲に入ります。」